

民報

あばしり

NO.1065

2016.4.17

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三、四四五八
F四三、四四五七



松浦奮戦メモ

衆議院北海道5区補欠選挙が告示され、市民・国民プラス4野党と自公との対決となりました。戦争法の

流水

▼久しぶりに、春の香りがほのかに漂うフキノトウ味噌をもつてYさんを訪ねた。▼雪解けの下からほっこりと黄緑色で今か今かと頭をもたげ始めたフキノトウ。春の一番味を、

いわぶち・

森キャラバン来網!

今年7月に行われる参議院選挙の日本共産党いわぶち友比例代表予定候補と森つねと道選挙区予定候補のオホーツク管内キャラバンが、網走入りしました。キャラバンは4月7日午後

8日は、午前9時から遠軽町、湧別町上湧別、北見市常呂町で街頭演説を行い、午後

は景気が悪い中では、中小企業・小規模事業者にとって来

ベーシック橋北店前で街頭演説にたち、「安倍暴走政治を許さず、戦争法の廃止と立憲主義を取り戻しましょう。そのためには野党共闘をすすめ野党が多数を占めることが必要です。野党共闘

の要である日本共産党を躍進させて下さい。選挙区では森つねと、比例代表では日本共産党と書いてください」と気迫の訴えをし、次の訪問地である斜里町に向かいました。



廃止を掲げ、戦後政治上初めて市民と野党が共同して担ぐ、池田まき候補と自民党公認との選挙戦です。池田候補は、「誰一人置いてきぼりをつくらない」「安保関連法、TPP、原発政策、社会保障のどこに市民の声が届いているでしょうか」と安倍自公政権を批判しました。また、「武力で平和はつukれない。多くの市民と政党がつながれば絶対に負けない」と訴えている様子がテレビで報道されていました。シールズのメンバーや日本共産党の青山道委員長、畠山衆議、畑野衆議をはじめ、野党の幹部や議員が勢ぞろいしている姿に、野党共闘の素晴らしさを感じました。野党は共闘!

街・スポットライト

これで大丈夫か?

疑問に思う

新しくなった「流水館」に予想を上回る入館者が訪れ、市の担当課の人もホッとしていると思えます。しかし、本当に喜ぶことが出来るのでしょうか?

次のような話を聞きました。「見晴らしも良いし、評判もいいので行って来ました。でも、入館する前に階段のマットを見て驚きました。ずるずる動いていて、もし足を踏み外してもしたら」と、このままでは危険だとの事です。現場を確認した写真ですが、たぶん管理者が冬期間のすべり止めにと気を使ったのだと思いますが、これでは「すべり止めマットが、思わぬ危険につながる」と感じました。



担当課に問い合わせたところ「早急に現場確認し対応します」との回答でした。

お年寄りから子供たちまで、多くの観光客が海外からも訪れていきます。冬はもちろん、夏も転倒の危険を少しでも減少させるため、特に足元はしっかりさせることが基本ではないでしょうか。

▼久しぶりに、春の香りがほのかに漂うフキノトウ味噌をもつてYさんを訪ねた。▼雪解けの下からほっこりと黄緑色で今か今かと頭をもたげ始めたフキノトウ。春の一番味を、Kさんと摘んだ。「冬期間の体のさびや、しびれを取り去る優れた食品!」と、Kさんはフキ味噌を毎年手作りする。今年も今年というし、豆腐にのせると晩酌が進むと楽しみにしている方もいる。▼Yさんは、子供のころから自然の恵みを大切にしてきた親たちの生き方、味を孫にも受け継ぐ努力をしている。話題は食の大切さに広がり、先祖たちが食べて、今の体を守ってきたこと。そして玉ねぎ氷が入った豆乳スープを頂いたが、塩分を見直した、今の食生活も実践している。Y夫妻の血液は、ドック検診で「たいへんきれいだ」と、医師から合格点をいただいたそう。TPP問題に関心をもち、講演会にも参加して食の安全に心が痛む、と。▼周りの方々の意識が薄くさせられてしまう情勢や環境、御上が数の強引さで決めたことに、なるようになるしかないという考え、何もできずに毎日を生きてしまうことに、命の危険をじていることは同じだった。帰りに、今年とれた海明けのこんぶと、ジャガイモ団子(ふき味噌を付ける)と絶品)をいただいた。翌日、依頼していた戦争法廃止を求め署名用紙が届けられ嬉しかった。(て)